

沖縄の震度5弱 世界遺産に被害

沖縄県糸満市で震度5弱を観測した27日未明の地震で、世界遺産に登録されている勝連城跡(沖縄県うるま市)の石垣の一部が崩落するなど、文化財にも被害が出た。

県教委などによると、勝連城跡は、北東側城郭の石

垣の一部が幅7㍎、高さ6㍎にわたって崩落。13、14世紀に豪族が築いた同城跡は、那覇市の首里城などとともに「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として2000年に世界遺産に登録されている。うるま市では震度4を観測していた。同じく震度4の同県南城市でも、糸数城跡(国史跡)の石垣が幅3㍎、高さ5㍎にわたり崩れた。